湯沢学園だより

～人を想い　我を磨く～

第７号　　令和５年 12 月８日



「湯沢学園の強み」～多様な異学年・異校種交流～

一昔前の子どもたちは、近所の学年の違う子ども同士で遊びながら、学年が上の子への敬意や下の子への配慮等を、自然と身につけていました。近年はそういった縦社会の関係が薄れ、関連する社会性が育ちにくくなっています。しかし、湯沢学園は保小中一貫教育を同一建物の中で行っているので、失われつつある異学年・異校種交流を行いやすい環境にあります。９月に行った体育祭などはその最たる活動ですが、11月に行った行事をいくつか紹介します。

インフルエンザの猛威により、中学校は５日（火）より３日間の学校閉鎖、小学６年生は６日（水）より３日間の学年閉鎖となってしまいました。コロナ禍において成果を上げていた感染予防対策を、各自の判断で行い、感染には十分注意をお願いいたします。

11月21日（火）絆スクール集会（写真右）

小中の児童生徒が、24のグループに分かれウォークラリー的にキーワードを持って校内に隠れている人を探します。それぞれのキーワードをつなぐと、ある問題が出ます。１年生から９年生までグループで協力して、楽しみながら取り組んでいました。





11月24日（金）あおぞら祭り（写真左）

３～６年生が学級ごとに開催する催し物に、１、２年生とこども園の年長児が参加します。今年は、７年生が年長児をエスコートしました。参加者が楽しむ姿に、主催者の児童たちも御満悦の様子でした。



11月29日（水）30日（木）小中合同レクリエーション（写真右）

昼休みに奇数学年は第一体育館、偶数学年は第二体育館で、それぞれ風船バレーと手つなぎ氷鬼を行いました。１組と２組で２日に分けて行いましたが、該当クラスでない児童生徒がうらやましそうに眺めるなど、楽しい企画になりました。

湯沢学園では上記のような活動を意図的に実施して、子どもたちの社会性や自己肯定感の育成を図っています。

～地域の皆様に支えられて･･･～

11月27日(火) 湯沢ライオンズクラブの髙橋正人会長様と岸野陽一幹事様が来校され、湯沢学園にと多額の寄付をいただきました。ありがとうございました。保小中で協議のうえ有効に活用させていただきます。

早い頃は還暦学年の皆様より、中学校へ大型モニター２台の寄付もいただきました（写真右は授業の様子）。湯沢学園がたくさんの地域の皆様に支えられて、教育活動を展開できることに感謝申し上げます。



（文責　井口　秀夫）